

元村東自治会

30年以上続く昼食サービス

元村東自治会の誇る「昼食サービス」事業。毎月2回、福祉活動部員等がふるさと交流館の調理室で作ったお弁当を、地域の民生委員が一人暮らしの高齢者やいきいきサロンに参加している方々にお届けしている。毎回、民生委員の「持っていくよ」と「持ってきたよ」の声がけが見守り活動になっている。お届けする側も手ぶらで見回りをするより、お弁当を届けながらだと、訪問先に受け入れてもらいやすく、会話が弾む。



福祉活動部と民生委員で昼食づくり
この日のメニューは夏野菜カレー

子どもの参加が地域を盛り上げる

元村東自治会の清掃活動は毎回ほぼ全員参加。この参加率の良さには役員構成が関係している。元村東自治会の役員には子供会と生徒会の会長が入っている。そのため各会から参加を呼びかけることができ、行事に子供の参加が多いのだという。この地域性を生かし、子供が中心となって楽しめる行事の企画を積極的に実施している。5年前からはウォークラリーを実施。自分の住んでいる地域を知るための地域探訪がねらい。コース内10か所に設置されているクイズを解きながら時間内にゴールを目指す。毎年多くの子供が参加し、自治会活動を盛り上げてくれている。また、敬老感謝のつどいでは子供会や生徒会の子供たちが表彰者に宛てた手紙を書いて、プレゼントと

一緒に渡している。毎年とても喜ばれており、地域の高齢者との世代間交流も大切にしている。



ウォークラリー

地域の安全のために

地区内の通学路は交通量が多く、事故も少なくない。そのため生活安全部が毎日のスクールガードに取り組む。その他、年6回の交通安全週間には沿道に旗を立てて交通安全を呼びかけている。また、防災訓練では消火器の使い方や実際に煙のある空間での避難活動など実践的な内容で年1回行っている。自治会内にある滝沢ふるさと交流館は東日本大震災時に避難所となり、市内で一番多く避難者が訪れた。この時、地域のみんで炊き出しをした経験が防災意識を高めた。

地域をもっと知ろう

現在、地域の「ささえ合いマップ」を作成中。自分の住んでいる地域のことを知っているようで知らない人は多い。原点に戻って地域の人をみんなで知る活動を子供会や生徒会と協力して作りあげていきたい。また、慶弔規程を高齢者表彰だけでなく、出産祝い金や災害見舞金など、幅広い年代に喜んでもらえる制度を考えている。



左から藤原忠雄氏（生活安全部長）、井上春江氏（福祉活動部長）、井上靖宏氏（自治会長）、取材時撮影